

# 食品産業生産性向上フォーラムin名古屋 開催結果報告

2018年11月5日（月）13時より、ウイंकあいち10階会議室にて、「食品産業生産性向上フォーラムin名古屋」を開催した。参加者総数は約95名、うち食品関係者は38名であった。他、ロボット機械その他28名、コンサル関係3名、政府・公共機関9名、出展者17名。フォーラムの内容は下記のとおり。

## 1. 趣旨説明（農林水産省食料産業局食品製造課企画官 阿部 徹氏）

食品製造業は我が国を支える主要な産業である。しかし、労働生産性は製造業の中でも低いレベルである。今後の食品産業においては労働生産性向上が重要である。労働生産性とは、生産される付加価値＝アウトプットを、就業者・労働者数＝インプットで割ったものであり、アウトプットを増やすためには、需要を引き出す価値の創造や海外進出などがあり、一方でインプットを減らすためには、IoTを活用し省人化と業務改善、人材育成等の取り組みが大切である。また、生産現場の効率化で人手不足を補わなければ、生産が追いつかない事態にもなりかねない。課題は企業・現場によって異なるので、交流会でより良いパートナーを見つけていただき、日々命を繋ぐ大切な産業の生産性向上に取り組んでいただきたい。



フォーラム風景

## 2. 基調講演（食品生産性向上フォーラム企画検討委員長 弘中 泰雅氏）

生産性とは、顧客にとって有益な商品を作り付加価値を出すことである。投入した労働力が効率よく生産に使われていることが重要。しかしながら、生産性を数字できちんと捉えられている工場や経営者は非常に少ない。工場の生産性は会社の売上ではなく、工場の出荷金額を見ることが正しい。工場出荷額から原材料を引いたものが工場が生み出した付加価値となる。それを一人当たりで割ったものが価値となる。工場全体だけではなく、部門ごと、ラインごとに見ることで課題対策がわかりやすくなる。食品製造業は多品種少量生産だが、効率的なスケジュールで運用しようと考えている食品製造業の人が少ない。生産性を2倍にしたいければマネジメント思考に転換することや、従業員の意識改革等に取り組まなければならない。

## 3. 基調講演（ものづくりテラス 林 芳樹氏）

「食品製造業の組織力向上を考える」講演。食品製造業の課題は多いが、組織力向上を現場の工程・組織マネジメントの視点から考察する。本日は、品質管理、人材育成、全社課題への対応について、組織構造の面から事例を元に、食品製造業の組織向上を考える。品質管理部門ではミッションの明確化をはかり発生した問題を「対応療法」的な解決ではなく、根本原因を押さえ再発防止をはかるしくみを整備する。人材管理面からは、経営方針をもとに各部門、個人目標まで展開しモチベーション向上等、目標管理を推進することがある。全社課題面では経営者の意識改革として、無形資産の価値を認識することは重要。全社テーマに対応し各部門を横断的に支援する組織づくりが重要である。

## 4. 基調講演（一般社団法人 日本ロボット工業会 高本 治明氏）

「食品産業における機械化・ロボット化の現状とポイント」講演。以前は使い難かったが、近年では食品製造業界でもロボットへの注目が高まっている。センシング技術とAI技術が進歩したことが大きく、画像処理が使い易くなった。協働ロボットが誕生したことも大きい。ロボット導入のポイントは、工場全体の生産性向上が必要であり、1箇所だけのロボット導入では全体の課題は改善されない事を注意する。工場全体の工程の状況を把握した上で、ロボットをその改善のツールとして活用すべきである。導入事例のハンドブック等を参考にしてほしい。また、システム構築では経営層がシステムインテグレータ会社ときちんと話し、現場任せにしないことが重要と考える。

## 5. 先進事例紹介（株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ 河田 真一氏・曾根 誠氏）

東海道新幹線の車内販売、お弁当やサンドイッチ、飲料、菓子の製造・販売、飲食店の経営等を行う。工場の中長期課題として、人材不足や従業員の高齢化、生産管理・工程管理の非効率等があり、短期課題として、他社との競争激化、原材料価格の高騰、慢性的な人手不足等がある。弘中氏の工場診断を受け、「効率化」、「低コスト化」、「生産性向上」のテーマに取り組み、2年で生産性2割アップの目標を設定した。その結果、盛り付けラインの時間意識の醸成、作業の省人化、自動化、今後の取り組む3点を成果として上げることができた。

## 6. 先進事例紹介（株式会社バイナス 下間 篤氏）

ロボットFA事業では最先端技術を駆使して手組み工程の自動化を実現するロボットアプリケーション開発が得意である。また、FA技術を学ぶ実習装置累計3,000台程を教育機関・企業へ導入した。「パン型枠取り外し装置」「ポテトサラダならし装置」「フィルム箱詰め装置」「非接触てんぷら装置」など、食品製造現場ならではの導入システム事例を動画により紹介。

## 7. 農林水産省よりお知らせ（農林水産省食料産業局食品製造課企画官 阿部 徹氏）

農林水産省の補助金政策に関する取組について①食品産業イノベーション推進事業②食品産業戦略、③食品産業の働き方改革早わかりハンドブック（ハンドブック）、④食品産業「稼ぐ力」応援セミナーについて紹介。

## 8. 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション

会場を移動し、支援事業者13団体によるプレゼンテーション実施。

## 9. 交流会

プレゼン企業に加え、講演者を交え、50名ほどの人数が隣接の展示交流会場で交流会を行い活発な意見交換がなされた。



交流会の様子